

平成 19 年 1 月 19 日

東京会場

於：湯島聖堂

中斎塾準備フォーラム 第 6 回講話

最近の事件は異常な事が多いと思います。

子が親を殺したり、妻が夫を殺したり・・・しかも殺し方が異常です。

切断をすとか埋めるというように、従来とは大分変わって来ていると思います。

昨年の中頃、丙戌（へいじゅつ）について申しました。

「丙」は台座を意味します。

「戌」は悪いものがどんどん広がっていくのを剪定せねばならない事を意味します。

それを踏まえて昨年は、生首が飛ぶ。

犠牲者がどんどん出る。

政治家も高級官僚も、経済界も、どんどん生首が飛ぶという事を申しました。

今年は丁亥（ていがい）です。

「丁」は釘の頭です。

「亥」は猪、爆発を意味します。

干支は緩やかに移行していきますから、今年は昨年の犠牲者の首がまだまだ出足りないままです。

これからもっと起きると思っています。

犠牲者の生首は政治家・高級官僚・経済界、まだまだ出ます。

首のすげ替えですから、まだ続くと思った方が良いでしょう。

それから怖いと思うのは、先ほど申しました一般の所にも広がってきた事です。

しかもこれが残虐性・異常性・異様性を加味し始めたところに問題があると思います。

ですから今年は、相当様々な事件、事故、災害が表面化するであろうと思っています。

どぶ泥に溜まったものが、表面化してくる。

しかもそれが爆発する。

今年は北朝鮮から何かが飛んで来てもおかしくはないと思っています。

大災害が起きる可能性も高いでしょう。

さらに緊迫度を増していくと思います。

そう考えると、阿部内閣が終わるのもおかしくはないと感じます。

この中斎塾では時代の流れを読んで、状況を洞察します。

そして自分自身の判断基準を御紹介したい。

そして最終的には、< 足るを知る > という言葉を心の中に沁み込ませて戴く。

< 足るを知る > という心を、我々の中で学び、他の方にお話しし、日本国内ひいては世界へ提言していく。

日本から世界へ、< 足るを知る > という心を広げていく。

それによって自分自身の心も爽やかに明るくなっていく。

そういう場でありたいと思っています。

では、本日の講話に入ります。

最初に素読の体験をして戴きます。

素読は私共が学ぶ時に、学ぶ姿勢を教えてくれる勉強方法ですので、ご一緒に私の後について声を出して下さい。

素読は明治・大正・昭和の前半、教養人といわれる方々が、小さい時から自然と摺り込まれた勉強方法です。

そうすると切所に立った時に、ずっとその言葉が浮かんで来て、難関をクリアできます。

ルールが三つあります。

まず背筋を伸ばします。

次に目線を定めます。

真正面よりやや上を向いて下さい。

三番目は気持ちの良い声を出す。

(素読)

吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、

五十にして天命を知り、六十にして耳順う、

七十にして心の欲する所に従いて矩を踰えず

十代は学びたいと思う年代です。

学びたい、覚えたい、何にでも興味を持つ年代です。

ここで間違えてはいけない事は、「学ぼう」というのと「教わる」というのは根本的に違います。

教えてもらうというのは、口を開けて待っているだけです。

「学ぶ」というのは積極的で、一步前を出て意欲があります。

ですから「学ぶ」が良いですね。

十代は興味を持って学ぶ年代。

二十代は何も書いてありませんが、朱子学に「行間の文字を読め」という言葉があります。

私は、<二十代は好き勝手な事をやって良い>という年代だと読み取りました。

三十代は、一家を構える、独立をする、自分なりのものの考え方を決めて歩み出す時代です。

ですから、二十代後半から三十代に独立するのが比較的良いと言われます。

四十代になると、荒っぽいけれども未来への可能性を秘めた経営者だという予感がします。

五十代は、自分のやるべき事はこういうものだと腹に固まって来る。

自分の行く道は大体これだと思う。

六十代は、人間関係も非常に良い循環をし、次から次へ良い方とお付き合いするようになるし、良い循環で毎日が巡っているような状況になります。

素読をする事によって、自然と、自分がどのポジションにいるか、その年代にあったような進み方をしているか時々見直しをして戴くことができます。

皆さんは昨日一日、嘘をつきませんでしたか？

一週間、嘘をつきませんでしたか？

皆さんは夢をお持ちですか？

手を上げなかった方に、アドバイス致します。

では、昨日一日、何か驚いた事、感動した事がありますか？

新聞やテレビを見ていて、不思議に思った事はありませんか？

不二家の社長が引責辞任して頭を下げました。

何故こんなに遅く引責辞任したのだらうと思いました。

不祥事が出た瞬間に、即座に辞任すべきでしょう。

未練たらしく、なぜ残っているのでしょうか。

日銀の利上げで、総裁が「まだ利上げは無理です・・・」と答弁していましたが、何をごまかしているのでしょうか。

あの方は、もうとっくに退陣していなければいけない人です。

身の引き際を間違えています。

こういう問題を起こした時に、よくある事は「この問題の結末をつけ、道筋をきっちり付けたら責任をとって引責辞任します」と言います。

しかし失敗をした社長が、後始末できるわけありません。

失敗したら即座に辞任すべきで、次にバトンタッチをする人間を自分で指名するなんておこがましいと思います。

ベースになるのは、何故？と思う事です。

日銀が利上げできなかった・・・何故？

何故・・・？をずっと追求していくと、本質を抉り出す事ができます。

ですから昨日一日を思い出してみても、何故？と思えば良い日だったと思います。

渋澤栄一は、寝る寸前に必ずこれを実行していたそうです。

何故？と思った時に、よく分からなかったなら、調べてみようと思います。

翌朝起きた時に、即座に行動して調べようと実行に移す。

ですから寝る前が肝心です。

寝る瞬間に、＜ああ、夢が実現して良かったな・・・＞と思って寝ると、無意識の内に実現に向かったの動きを自然とします。

仏教の中の阿頼耶識は、こういう考え方に直結しています。

陽明学の中の「知行合一」も、直結しています。

ですから今日一日驚いた事はなかったか、何故だと思った事はなかったか？・・・寝る前にちょっと考えて戴いて、「おや？」と思ったら、何故だろうと思って寝ると、翌日にその疑問が大きく膨らんでいれば、その疑問は本物です。

忘れてしまえば、本物ではありません。

皆さんも是非、お試しになると良いと思います。

では陽明学の一言、「知行合一」を申し上げます。

＜足るを知る＞という考え方を説明していくのに、陽明学を活用致します。

陽明学は学ぶ上において、行動を重視する学問です。

行動する事によって、身体に沁み込みます。

行動の意欲をかき立たせないものは、学問とは言いません。

学問は日常の生活に役に立たなければ、学問ではない。

学問は事業の役に立つものでなければ、学問とは言えません。

学ぶという事は、自分の行動の指針を出してくれるものだと思います。

私は陽明学を信じています。

行動に移る、そのきっかけを中斎塾は発信し続けたいと思っています。

最初に申しました「丁亥」について、少し補足を致します。

陽明学者と言われる安岡正篤先生の、安岡干支学をご紹介します。

60年サイクルで世の中は動いているというものです。

人間も還暦で、赤ん坊に返るという意味で、赤いものを身に付けます。

人間も60年サイクル。

世の中も60年サイクルで見ましようという事です。

では日本の国は60年前に何があったか。

日本の60年前は、日本の国の体勢が崩壊して、アメリカから占領軍が入って来て、
どん日本が作り変えられた時代です。

その時にGHQが打ち出したものが、3S政策です。

スクリーン・セックス・スポーツです。

今見事に花が開いていますね。

野球は日本に定着しました。

アメリカの映画もどんどん広がりました。

どんどんアメリカのものの考え方が世間に広がっています。

アメリカ流の文化が、全世界に広がって行きました。

日本はその優等生です。

アメリカの価値観が世界に広がっています。

不思議な現象です。

60年前、アメリカは何をしたか。

日本人の魂を骨抜きにしようという事で、教科書に墨を塗りました。

金融封鎖で、銀行からお金が下ろせなくなりました。

食べ物も食べられない時代になりました。

25都市に対して、都会に行ってはならないという都会地転入抑制緊急措置令が出ました。

お金持ちには、最高税率92%の富裕税を課しました。

とんでもない時代です。

先日、警察関係の或る方とお話したのですが、その方は
「国の体制が潰れる時は、その国民が大量に飢え死にする国家と、死なない国家があります。ロシアは大量の国民が飢え死にしました。中国も同じです。ペルーは違いました。中南米の国々は死なないですね。」と言っておられました。

国の体制が崩壊すると、食べ物を供給できなくなる国家体制と、出来る国家体制の国があります。

国家体制に関係なく、沢山の果物や野生の野菜などがあって、それを摂って食べれば生きていられるという国が中南米です。

私が意識しているのは、物事の考える上で<本質・大局・歴史>の判断の三原則です。

先ほどお話しした本の 60 年前は、歴史ですから縦軸です。

横軸は、同じ条件の国々を見て回る事が必要です。

それで私は、去年の夏ロシアに行きました。

私の実感では 1000 万人以上の方が飢え死にしています。

秋に、アルゼンチン・ブラジル・ペルーに行きました。

中南米は食べ物が豊富でした。

ですから死んでいません。

日本は今、潰れそうだと思っています。

稼げる金額の半分の借金で、ロシアもアルゼンチンも潰れました。

日本は今、どれだけ借金していますか？

稼いでいる倍の借金を抱えているのですから、潰れない訳がありません。

日本が経済破綻をすると、治安が乱れます。

治安が乱れたら、日本の警察官は 60 年前と同じ事をします。

60 年前、日本の警察は、皇居を取り囲んだデモ隊に対して、発砲して鎮圧しています。

アメ横に流れた食料を抑えるために、300 人の警察官が出て発砲して鎮圧をし、トラック 16 台分の物資を押収したという記事が、60 年前の新聞に出ています。

治安を維持する為に、警察を増強しています。

自衛隊も強化しています。

上っ面の大義名分はテロ対策ですが、中身は日本の国がひっくり返った時の、国内を鎮圧する為の軍備増強です。

銀行に行ってお金がスムーズに下せなくなっています。

これも、銀行でお金がスムーズに下せないという常識を植え付けようとしているのです。

どんどん危険水域に向かって走っているという実感が湧きます。
ですから、「丁亥」から推して考えると、60年前と同様な事が日本は来る。
横軸で他の国々を見ても、それを実感しました。

陽明学は行動の学問です。

行動する事によって見に沁み込みます。

そして身に沁み込ませたものは、是非外に出して戴きたい。

他の方に納得して戴くと、自分の知識が知恵に変わります。

行動する事によって、知識から知恵に変わります。

受けた知識を身体の中に入れておくと、腐ります。

我々の学びも、「そうだな」と腑に落ちたものは、外部に向かって発信して下さい。

咀嚼して外に出すと、また次々に新しいものを入れることができます。

是非そのように1ヶ月間過ごして戴いて、次回に行動を具体的に進めて戴くと有難い。

そう考えております。